

平成27年度 指定管理者事業報告概要及び評価

報告期間:平成27年4月1日～平成28年3月31日

施設名	大和スポーツセンター、草柳庭球場、桜森スポーツ広場、下福田野球場、 下福田スポーツ広場
指定管理者	公益財団法人大和市スポーツ・よか・みどり財団
指定期間	平成23年4月1日～平成28年3月31日

1. 事業報告概要

【業務実施状況】

●施設の管理運営に関する主な業務実施状況

(1) 窓口業務

- ①施設保険の受付：なし
- ②苦情、要望等への対応：苦情・要望 46 件

(2) スケジュール管理業務

- ①スケジュール会議の開催：屋外施設 1/27(水)、屋内施設 1/28(木)
- ②施設予約の抽選： 4/1(水) 5/1(金) 6/1(月) 7/1(水) 8/1(土) 9/1(火)
10/1(木) 11/1(日) 12/1(火) 1/1(金) 2/1(月) 3/1(火)

(3) 経理業務

- ①利用料金の収入・還付実績の作成
- ②収支決算書の作成

(4) 報告、統計業務

- ①建物健康診断報告書：12/1(火)提出
- ②消防設備報告書：2/12(金)提出
- ③月報：前月分の状況を毎月 15 日までに提出

(5) 情報提供業務

- ①ホームページの管理運営：財団情報サイト「やまとナビ」日々更新
- ②情報誌の作成：財団情報誌「とりころーる大和」隔月発行
- ③新聞、雑誌等の提供：新聞 2 紙、雑誌 7 冊

(6) その他の業務（日常業務）

- ①大和スポーツセンター清掃の日：5/28(木) 11/26(木)
- ②大和スポーツセンター消防訓練：6/17(水) 12/16(水)
- ③ドクターヘリの対応：5/17(日)
- ④救急車の要請：13 件
- ⑤盗難、事故等の対応：利用者同士トラブル 2 件、当て逃げ事故 1 件
(現場対応、警察への通報、事後対応)

- ⑥補修業務：49 件（施設、器具等の修理など）

(7) 委託業務実施状況

施設名	業務内容	回数等
大和スポーツセンター 体育会館	日常清掃業務	年間
	設備管理業務	年間
	警備業務	年間
	床面定期清掃業務	月 1 回
	窓ガラス清掃業務	年 3 回
	衛生害虫駆除	年 2 回
	貯水槽清掃業務	年 1 回
	給水ポンプ点検	年 1 回
	水質検査 (10 項目)	年 1 回
	水質検査 (15 項目)	年 1 回
	冷温水発生器保守点検	年 4 回
	AHU	年 4 回
	F C U	年 4 回
	フィルター除塵装置清掃	年 4 回
	送排風機点検	年 4 回
	空調用ポンプ点検	年 4 回
	圧力容器点検	年 1 回
	給湯設備保守点検	年 1 回
	消防設備保守点検 (体育会館・競技場)	年 2 回
	競技表示システム保守点検業務	年 1 回
	体育器具保守点検業務 (トレーニング機器)	月 1 回
	体育器具保守点検業務 (体育器具)	年 1 回
	夜間警備業務 (体育会館・みなみ風)	年間
	自動ドア保守点検業務	年 3 回
	トイレ消臭設備等保守点検業務	年 6 回
	放送設備保守点検業務	年 2 回
	移動観覧席保守点検業務	年 1 回
	エレベータ保守点検業務	月 1 回
	トレーニング室カーペット清掃業務	年 1 回
	空調自動制御設備保守点検業務	年 1 回
資源分別回収運搬処分業務	月 1 回	
みなみ風冷蔵機器保守点検業務	年 3 回	

大和スポーツセンター 競技場	管理業務	年間
	夜間管理業務	年間
	夜間警備業務	年間
	芝生維持管理業務	年間
	機器保守点検	年 1 回
	樹木剪定業務	年 2 回
大和スポーツセンター プール	管理業務	夏季
	受水槽、プール及びピット清掃業務	年 1 回
	濾過装置保守点検業務	年数回
草柳庭球場	管理業務	年間
	夜間管理業務	年間
桜森スポーツ広場	グラウンド整備業務	年 1 回
下福田野球場	トイレ清掃業務	随時
	グラウンド整備業務	年 1 回
下福田スポーツ広場	芝生維持管理業務	年間
	浄化槽清掃、保守点検	年 6 回
	グラウンド整備業務	年 1 回

●施設利用状況

年間利用者数（平成 27 年度）

施設名	利用者数
スポーツセンター体育会館 ※第 1 体育室は平成 28 年 1 月 14 日から平成 28 年 3 月 31 日まで閉場	272,026 人
スポーツセンター競技場 ※平成 28 年 10 月 1 日から平成 29 年 3 月 31 日まで閉場	74,695 人
スポーツセンタープール	6,022 人
草柳庭球場	57,842 人
下福田野球場	14,361 人
桜森スポーツ広場	13,662 人
下福田スポーツ広場	20,292 人
合計	458,900 人

【事業実施状況に関する補足説明】

- ・競技場改修工事及び体育館空調工事に伴う利用者への案内、スケジュール管理、予約システム上での周知やホームページ上での情報発信などを行い、利用者へ工事による混乱を生じさせないような管理業務を図りました。
- ・トレーニング室においては利用者用小物カゴの設置、更衣室抗菌マットの設置、バランスディスクの充実などソフト面のサービス向上を引き続き図りました。

- ・子どもたちが自分に合ったスポーツを見つけてもらうことを目的とし、スポーツの底辺拡大につながるよう「スポチャレ」イベントを初めて開催しました。
- ・施設利用者アンケートを年2回実施し、アンケート結果については館内への掲示及びホームページ上に公表するとともに、利用者との会話の中から引き出せる声を、財団ホームページ内の「ご利用者の声」として公表し、開かれた運営を進めました。

2. 収支決算概要

(単位：円)

収 入		支 出	
指定管理料 (市が指定管理者に支払った金額)	180,529,000	人件費 (指定管理者が雇用した職員の給料、諸手当、福利厚生等の金額)	54,067,435
利用料 (条例に基づき、利用者が指定管理者に支払った利用料金)	42,151,200	施設管理費 (施設の清掃や保守点検、修繕等に支出した金額)	169,806,734
その他 (出店料、器具等使用料、教室・講習会等参加料ほか)	9,677,255	事業費 (教室や講習会等の事業に支出した金額)	3,406,415
収入計 (①)	232,357,455	支出計 (②)	227,280,584

収支決算	5,076,871
------	-----------

【収支決算に関する補足説明】

- ・利用料金は、昨年度決算額 47,782,250 円に対し、今年度は競技場をトラック改修のため半年間休場となった影響等から、決算額が 42,151,200 円で 5,631,050 円の減収となりました。
- ・施設管理費は、昨年度決算額 175,699,537 円に対し、今年度決算額が 169,806,734 円で、5,892,803 円の減額となりました。

3. 管理運営に対する評価等

指定管理者の管理運営に対する市の評価は、次のとおりです。

評価にあたっては、平成28年8月3日に大和市スポーツ推進審議会からの意見聴取を行いました。

評価の視点1：施設を利用する者に対し、平等な利用の確保及びサービス向上が図られたか

(平等な利用の確保)

・施設の利用許可事務については、書類及び実地調査の結果、条例等に則り適切に行われていることが確認できました。

(サービス向上)

・施設の管理運営に関する苦情や要望については、苦情・要望等受付表を作成し、内容や対応結果を明確にしています。個々の対応内容も的確に対応していることが確認でき、利用者のサービス向上に取り組んでいると評価できます。

・間接的なサービス向上策として、大和市スポーツ・よか・みどり財団の特色を活かし、みなみ風花壇などスポーツセンター敷地内に四季折々の花を植えるなど、例年緑化運動に積極的に取り組み、そのことが利用者満足度の向上に繋がっていることは評価できます。

<ul style="list-style-type: none"> ・トレーニング室において、ソフト面のサービス向上に引き続き取り組み、利用条件である講習会を年215回実施し、利用人数が前年度から約7,400人増加していることは、サービス向上の結果でもあり評価できます。 ・スポーツセンターの体育会館及び競技場に、平成25年度から防犯カメラを設置し、犯罪行為に対する抑止力向上を図っており、平成27年度は盗難が発生しなかったことは、安心して施設を利用できる取り組みとして評価できます。 ・屋外施設にAEDマップを掲示し、有事の際の対応を周知したことも、安心して施設を利用できる取り組みとして評価できます。 ・利用者サービスの一環として平成25年2月から開始している、バスケットボール、バレーボール、室内シューズのレンタルは、約1,700足の貸出しがあり、利用者のサービス向上に繋がる取り組みとして評価できます。 ・利用者からの要望等があっても対応するだけでなく、指定管理者として、より積極的なサービス向上に努めることを期待します。
<p>評価の視点2：施設の効用が最大限に発揮された事業運営が行われたか</p> <p>(事業、イベント、施設PR)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・大和スポーツセンターを中心に、ランニング教室等ニーズを踏まえた各種教室を開催し、女子サッカーの公式戦やイベントの実施等にあたってフィールド状況を良好に保つなど、施設の効用を最大限に活かした事業運営が行われました。 ・10月にお客様感謝DAYとして「スポーツしちゃお！」を実施し、施設のPRを図りました。 ・子供が様々な種目に挑戦できる「スポチャレ」を初めて開催し、定員を上回る申し込みがありました。 ・下福田スポーツ広場で比較的使用の少ない平日午前中に、芝生の上で遊べる機会として、キッズパラダイス事業が実施されました。
<p>評価の視点3：施設の適切な維持及び管理が図られたか</p> <p>(通常の維持管理)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・施設の清掃や保守点検等の通常の維持管理は、書類及び実地調査の結果、仕様書等に沿って適切に行われていることが確認できました。 ・要望の多いスポーツセンター周辺の剪定については、苦情・要望等受付表により、的確に対応していることが確認できました。 ・大和スポーツセンター体育会館竣工後28年が経過し、設備機器の更なる老朽化や雨漏りなどの不具合箇所の増大に対して、徹底した日常・定期点検、修繕を迅速に実施し、施設利用に影響がないよう適切に維持管理を図っていたことは評価できます。他施設も含め、老朽化が進んでいる設備機器等には、より迅速な点検・修繕を期待します。
<p>評価の視点4：施設の管理を安定して行う人員、資産その他経営の規模及び能力を有しているか</p> <p>(管理者としての資質)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・事業計画書のとおり適正に人員が配置されており、関係法令に基づく管理体制を遵守し、施設の管理を安定して行う人員・能力等を有していると評価できます。 ・セルフモニタリングを行い、PDCAサイクルの検証、類似施設を管理する財団全体での情報共有化、効果的な業務改善活動を行うなど、施設を安定して適切に管理できる組織づくりに積極的に取り組んでいます。 ・施設利用アンケートを年2回実施し、アンケート結果については館内掲示、ホームページ上に公表し、要望に対する対応等を掲載し、利用者の視点に立った開かれた運営が行われていると評価できます。 ・施設の管理運営を安定的に行ううえで、十分な財務状況と判断しています。

